

活動3 若者グループに対して行う雇用創出と自立支援に向けた道直しの実施



写真1 エルダマラビンユース

- 活動地：バリンゴカウンティ、エルダマラビンサブカウンティ
- 実施日：5月20-31日（8日間）
- 補修距離：148m 側溝整備：410m
- トレーニング参加者 25名

カウンティからのマラムの提供が遅れ、トレーニング中日で中断を余儀なくされたが、予定通りの施工を実施した。



写真2 チェイオユースグループ

- 活動地：バリンゴカウンティ、ティアティサブカウンティ
- 実施日：5月27-6月4日（8日間）
- 補修距離：158m 側溝整備：330m
- トレーニング参加者 25名

年間を通じて雨量が400mm以下の半乾燥地であるが、雨期には度々洪水になる事もある。診療所へのアクセス道路の改善を行った。



写真3 ンジアムベンゲゼグループ

- 活動地：メルーカウンティ、イゲンベサウスサブカウンティ
- 実施日：5月21-30日（8日間）
- 補修距離：100m 側溝整備：500m
- トレーニング参加者 28名

郡議員関係者に「土のう工法」を説明するグループメンバー。側溝が無く、中心がえぐられていた箇所に土のうで埋めた後道路表面にさらに土のうを2層埋設した。



写真4 ガイキユースグループ

- 活動地：メルーカウンティ、ノースイメンティサブカウンティ
- 実施日：5月21-30日（8日間）
- 補修距離：72m 側溝整備：144m
- トレーニング参加者 26名

周辺の宅地よりも路面が低く水が溜まりやすかった道路表面をかさ上げた。写真は施工前(左)と施工後(右)



写真5 カヒロユースグループ

- 活動地：キリニャガカウンティ、サガナサブカウンティ
- 実施日：6月10-20日（8日間）
- 補修距離：123m 側溝整備：354m
- トレーニング参加者 25名

郡議員関係者に「土のう工法」を説明するグループメンバー。側溝が無く、中心がえぐられていた箇所には土のうで埋めた後道路表面にさらに土のうを2層埋設した。



写真6 キティリティユースグループ

- 活動地：キリニャガカウンティ、ムエア選挙区
- 実施日：7月23- 8月5日（8日間）
- 補修距離：142m
- トレーニング参加者 25名

湿地のため雨が降ると歩行も困難になる水田の中の農道を補修。トレーニング終了後、カウンティ政府が事業を引き継ぎ、米の運搬のためのローリーが通行できるよう施工が続いている。



写真7 カンガイユースグループ

- 活動地：キリニャガカウンティ、ムエアサブカウンティ
- 実施日：7月22-31日（8日間）
- 補修距離：65.8m
- トレーニング参加者 25名

最大7層の土のうを敷き、道全体のかさ上げを図った。施工後、カウンティが資材、労賃を提供し、約30日間施工が継続された。新たにコンクリートのカルバート2本も設置され、車両の通行が可能になった。



写真8 マルラビーユースグループ

- 活動地：キリニャガカウンティ、ムエアサブカウンティ
- 実施日：8月19-29日（8日間）
- 補修距離：90m
- トレーニング参加者 25名

カウンティが示した補修箇所の一部は、水田の中の完全な沼地も含まれていたため、予算の都合から沼地の手前まで施工を行った。